

# 令和6年 新春特別講演会

日 時：令和6年1月29日（月）16時00分から17時00分まで

会 場：シェラトン都ホテル大阪 3階「金剛の間」

参加者：約60名（ご来賓及び工業会の会員）

講師：溝畑 宏 氏（公益財団法人大阪観光局 理事長）

演 題：「大阪・関西万博とIRにおける大阪のインバウンド需要と大阪市の観光資源の取り組み」



新年賀詞交歓会に先立ち、恒例の新春特別講演会を開催致しました。お忙しい中にもかかわらず、御来賓と工業会の会員から約60名の方にご参加頂きました。

溝畑氏は、京都府出身、東京大学法学部ご卒業後自治省（現在の総務省）に入省され、その後北海道庁や大分県庁にて国と地方の両面で行政の仕事をされておられました。特に大分県庁ではJリーグ大分トリニータの立ち上げや2002年日韓サッカーワールドカップの試合招致に尽力され、また立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）の設立にも尽力されました。その後、官公庁長官を経て、現

在は大阪観光局の理事長を務められ、大阪を世界最高水準の観光都市にすべく、アイデアと行動力を持って推進されています。

（ここからはご講演内容を要約して記載致します。）

私は「ほら吹き」です。可能性が1%でもあれば、出来るとほらを吹くことが大事です。「ほら吹き」と「うそつき」は違います。ほら吹きは可能性が1%でもあればそれを100%に向けて必死に頑張る人です。うそつきは言うだけで何もしない人です。私はゼロからサッカーチームを作り14年かけて日本一にしました。アジアにハーバードのような大学を作りたい、まず成功のイメージを持ちロードマップを作ること、1年目、2年目の姿を描く、一番重要なことは最後までやり通すことです。トップになる人は絶対にほらを吹くこと、そのためにはリサーチと成功のイメージを持つこと、夢を描くことが重要です。企業のトップは夢を社員と共有して下さい。



日本は現在燦爛たる状態です。国際競争力は20年前が世界で2位でしたが現在は42位です。GDPもドイツに抜かれ、指標は厳しく財政もボロボロです。しかし住みたい都市ライキングでは日本は上位に入っています。チャンスはあります。日本が世界の平和、共生、協調のリーダーになるために大阪が日本を引っ張っていくのです。世界に日本のあるべき姿を発信していく、それが2025年なのです。ここでしっかりと復権しないと永遠にチャンスは来ないと思います。

国際観光文化都市・大阪が目指す姿は夢・希望溢れる都市です。年齢、性別、障害の有無、思想、信条を問わず皆を平等に受け入れる包容力溢れる都市です。また企業の皆様に一番意識を持って頂きたいことは、ゼロカーボン社会です。この意識がない企業は評価されなくなります。国際都市ランキングで大阪は経済・ビジネス分野で1位、交通・アクセスでも1位ですが、生活・住居は64位です。また環境に至っ

ては133位です。緑が少ないことが大きく影響しています。

関西には関西空、伊丹、神戸と3空港がありますが、3つ合わせてキャパは5,100万人です。一方アジアでは仁川（インチョン）空港は7,100万人、シンガポールは6,800万人です。アジアのゲートウェイになるにはキャパ増大に本気で取り組む必要があります。

経済面では大阪のGDPは6年間で3.3兆円増えました。東京と伸び率は同じです。この大きな要因はインバウンドです。大阪が生き残る道はいかに外資を取り込むかです。私がお大阪に来た7年前は行政の計画は空白でした。しかし行政と民間の努力によりロードマップが出来上がりました。主なところでは2024年はうめきた2期のまちびらき、25年大阪万博、森ノ宮には日本一大きい公立大学のキャンパスが出来ます。淀屋橋の再開発も完成します。そしてその後はIR施設開業に向けて淀川左岸線、なにわ筋線、新大阪駅再開発など、万博やIRへのチャレンジ精神が行動力となって推進しています。

また今後取り組む課題に「SDGs」があります。これをやらないと企業は評価されません。今の大学生は「SDGs」の意識が高いです。「SDGs」の意識がない企業には就職したくないとはっきりしています。具体的に4つ説明します。「ユニバーサルツーリズム」高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく楽しめる観光都市を目指します。「LGBTQツーリズム」多様性を尊重し、認め合う都市・大阪を実現します。「ペットツーリズム」人とペットが共に生きる街・大阪を目指します。「ナイトカルチャー」ナイトコンテンツを充実して夜でも楽しめる観光都市を目指します。

緑化への取り組みも始めています。一人当たり緑地面積は大阪：5㎡、東京：11㎡、ソウル23㎡、シンガポールは人口密度高いイメージですが66㎡です。圧倒的に大阪は緑が少ないです。日本みどりのプロジェクト推進協議会を立ち上げてオールジャパンで取り組みます。

大阪・関西万博は日本の成長の起爆剤になります。2025年は世界が大きく動く年です。世界情勢がどう変わるか人間の生き方が問われる年になります。万博は2,800万人の集客を見込んでいます。日本人の誇り・魅力を発信していきます。皆様の企業もビジネスチャンスや人材交流のチャンスです。ただテーマがいのちや健康なので高齢者向けと思われ、若者世代に響いてないのではと懸念があります。各パビリオンはユニークで魅力ですが、大谷翔平パビリオンなどスポーツ関連が少ないことが懸念されます。



IRはカジノが一部入りますが、その他はホテルや国際会議場、国際展示場、レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設など年間2,500万人が来場する見込みです。雇用は9万人 経済効果は1兆円と大きな投資や経済消費が生まれます。大阪がアジアNo. 1になるための大きな起爆剤になるでしょう。

F1は世界24か所、日本では鈴鹿で開催しており誘致にはハードルが沢山ありますが可能性はゼロではありません。サーキット場か公道かで設備が違います。サーキット場はその他の利用が問題で公道はセキュリティや交通規制が問題です。シンガポールは誘致に10年かかったそうです。開催出来れば大阪がエンターテインメント都市として更に認知されます。私は何も無いところからサッカーチームを作り、大学を設立しました。F1も可能性がある限り挑戦します。やってみての失敗には気づきがある、やらなければ何も生まれない。職員にも常に言っています。是非皆様の会社でも世界のマーケットで将来会社をどんな姿にするか社員の皆さんと夢を語って下さい。それが大事だと思います。本日は有難うございました。